

行って、見て、 楽しんでわかった ハノーバー万博



スイス
スイス館

同じような
ZERIは、
自然の木の
柱を
使った



ZERI



アイランド



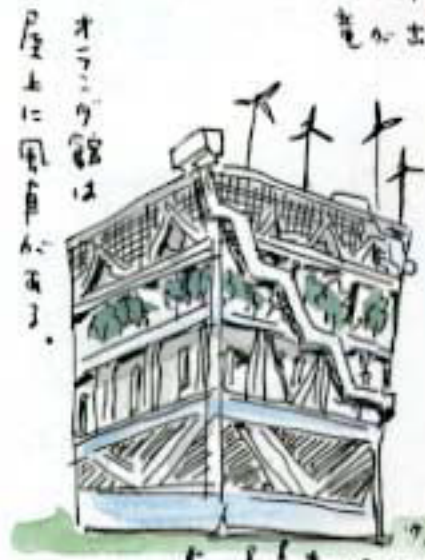
アイランド館は
アイランド館を
訪ねると、
自然の木の
柱を



タイ
タイ館は
タイ館を訪ねると、
同じアジア
の仲間だ
という親し
みを感じ
るよ。

親しみのある アジアの パビリオン

韓国館では民族衣装のチマチョゴリを着たお姉さんが、日本語で「こんにちは」とあいさつしてくれた。ネパールやタイのパビリオンを訪ねると、同じアジアの仲間だという親しみを感じるよ。「あいち万博」でもいっしょにならなう。



オランダ館は
屋上に風車があるよ。

オランダ



タイランド館は、
自然の木の
柱を



韓国



ネパール

ネパール館は、
自然の木の
柱を

自然の木の
柱を

世界各国の人たちが集まる万博会場。いちばん楽しみにしていたのは世界のパビリオン見学だ。ハノーバー万博では、どのパビリオンも万博が終わったあと破壊したり、ゴミにしないで、リサイクルできるように考えられているんだ。ZERI（ゼロエミッションを進める国連の関係機関）のパビリオンは竹でできたキノコみたい。自然の木や花をいっぱい使ったオランダ館は人気ナンバーワン。入場待ちの列もできていたけれど、並んでるときいろんな国の人とおしゃべりしたり情報交換するのも楽しい。万博の魅力は世界中から集まったたくさんの人に出会えること。そして、自分でじかに体験して学べること。



ゴミ箱と デポジットの 自動販売機

万博会場のゴミ箱はきちんと分別されていたよ。それから、空き瓶を入れるとお金が出てくるデポジットの自動販売機があったよ。デポジットというのは、ジュースなどにピン代があらかじめ含まれていること。だから、ピンを返せばお金が戻るんだ。



デポジット



ゴミ箱



ユニークな 椅子が いっぱい

広い会場、歩き疲れた人がふと座ってみたいユニークな椅子がいっぱい。座ってゆっくりと眺めたり、考えたりするのも大事なこと。これも「あいち万博」で取り入れたアイデアのひとつ。



広い会場、電気 自動車が活躍

100ヘクタールもある広い会場だから、電気自動車や電気スクーターで移動する人もいたよ。制限速度がきびしく決められていて、スピード違反すると、すぐに注意される。

